



『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和3年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和3年2月9日(火)

| | | | |
|-----|--------------------------------------|-----------------------|---------|
| 事業名 | 景観に配慮したまちづくりの推進 | 予算(案)の概要 | 110 ページ |
| 予算額 | 令和3年度予算額 (前年度予算額) | 17,453 千円 4,789 千円 | (拡充) |
| 取材先 | 都市計画部景観・まちづくり課長 中山 (電話 03-5273-3549) | | |

〈拡充〉新宿区景観まちづくり計画 景観形成ガイドラインの改定に取り組みます

予算額：17,453千円

1. 現状の課題

平成21年の景観まちづくり計画策定から10年以上が経過し、
●デジタルサイネージ等新たな広告物の普及
●新型コロナの感染拡大 等
社会情勢や、まちなみに大きな変化が生じている。



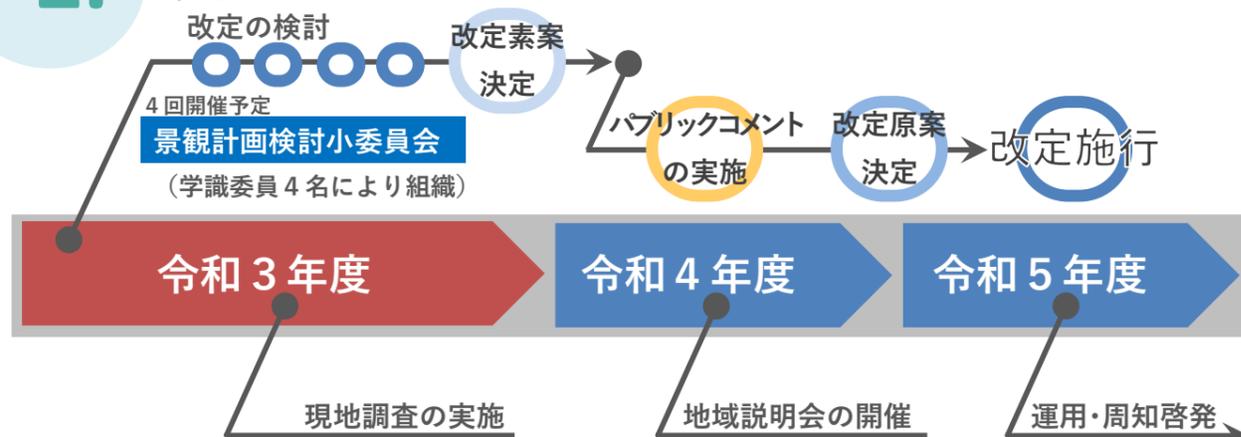
神田川の景観



新宿御苑の眺望

計画・ガイドラインの改定が必要

2. スケジュール



3. 改定内容について

景観計画

以下の6つの観点に基づき改定を行います。



スカイライン

新宿駅周辺の再開発を見据え、スカイラインの形成方針を検討します。



夜間景観

地域の特性にあわせた良質な夜間景観の形成を図るため、照明計画の方針を検討します。



新たな広告物

計画策定当時想定していなかったデジタルサイネージ等新たな広告物に対する方針を検討します。



国際的視点

日本らしさをアピールする景観など、国際ビジネス交流拠点としての景観を検討します。



公共空間

公園、空地など、公共空間における景観を検討します。



「新たな日常」への対応

コロナ禍を踏まえ、換気や対人距離の確保など、新たな生活様式に対応した景観を検討します。

ガイドライン

以下の4つの観点に基づき改定を行います。



街並みの変化

大規模開発や道路整備などにより、大きく街並みが変わったエリアについて、景観形成方針等を再検討します。



過去の論点の再整理

景観事前協議や審議会において論点となった事項を検証し、明示されていない事項などガイドラインへの反映を検討します。



みどりの変化

現況のみどりを再調査し、エリア図等の時点修正を行います。



エリア境界の取扱い

区界における取扱いや、エリアをまたぐ場合の取扱いを検討します。



西新宿の高層ビル群